

子ども主体しょうがいによるいじめ防止のための活動を紹介するリーフレット

みんなでいじめを防ごう

～徳島県内の児童・生徒のみなさんへ～

「いじめ防止子ども委員会」による取組を進めよう！

いじめがいけないことは、みんなわかっています。にもかかわらず、みなさんの友達の中に、つらい思いをしている人はいませんか？

誰もが笑顔だれ えがおで、安心して生活できる学校にするためには、みなさん一人一人が何ができるかを考え、自分たちから行動を起こすことが大切です。

徳島県では、今年度から各公立小学校と中学校、特別支援学校しえんにおいて、「いじめ防止子ども委員会」の設置を進めています。「いじめ防止子ども委員会」の活動は、みなさんがいじめの問題を自分のこととして考え、解決に向けて主体的に取り組むことで、より良い学校づくりに役立てようとするものです。

いじめを防ぐために、みなさんの創意を生かした、本気の子どもの主体による活動を始めませんか。

学校の先生やお家の人、友達ともよく相談して、取り組んでいきましょう。

いじめ防止子ども委員会の活動例



- ◎ いじめ防止子ども委員会しゆさいの「全校集会」や「学校行事」の開催かいさい
 - ◆ 「スマートフォンや携帯電話の使い方のルールづくり」
 - ◆ 「いじめ予防クラス別取組発表会・ポスターセッション」
 - ◆ 「わたしたちの行動宣言」
 - ◆ 「〇〇学校いじめストップ集会」
- ◎ 「いじめ防止週間」における各委員会ごとの取組
- ◎ いじめ防止を議題とした「代表委員会」の開催かいさい
- ◎ 「いじめ防止キャッチフレーズ」の作成
- ◎ 「あいさつ運動」の実施じっし
- ◎ 「いじめ防止子ども委員会新聞」の発行



※「いじめ防止子ども委員会」は、これからすべての学校に広げていきます。まずは現在ある委員会を活用するなど、学校の実態に合わせて活動を始めましょう。

いじめ防止に取り組む県内小中学校の活動紹介しょうかい

①「自分たちで、よりよい学級にするために」

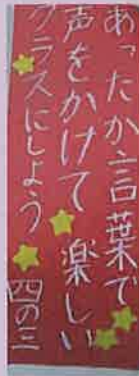
(徳島市加茂名南小学校 いじめ防止子ども委員会の取組から)

仲良し(七夕)集会

各学級ごとに、自分たちの学級をさらによりよくするためにどうしたらよいかを話し合い、4月に作った学級目標の見直しを行いました。新しい学級目標は、願い事という形でたんざくに書き、児童会・集会委員会が中心となって行う仲良し(七夕)集会で、全校児童の前で発表しました。

仲良し(七夕)集会のプログラム

1. はじめの言葉
2. たなぼたのお話
3. 願い事の発表
4. ゲーム
5. 歌「たなぼたさま」
6. 校長先生のお話
7. おわりの言葉



【集会に参加した感想の中から】

- ・どの学年も願い事を上手に発表していて、みんなでがんば頑張るよい学級にしようと思いました。
- ・願い事の「クラス全員が助け合う心を持ち、明るく楽しいクラスになりますように」がかなうようにクラス全員が協力してがんばります。

②「スマホ等の安全利用～私たちのルールと私たちからの発信～」

(美馬市立三島中学校 生徒会いじめ防止委員会の取組から)

スマホ等を安全に使うための3箇条かじょう

スマートフォン・SNS等の利用は、家族とのれんらく連絡や防犯にも役立ち、大変便利なものです。しかし、私たちにとって生活や学習にあくえいきょう悪影響を及ぼしたり、いじめや消費トラブル等に巻き込まれたりする危険性もあります。

生徒会いじめ防止委員会が中心となって、「スマホ等を安全に使うための3箇条」を作成し、様々な行事の機会を利用して保護者や地域の方々にも発信しています。また、現在「ノースマホデー」の日を決めることも話し合っているところですよ。



スマホ等を安全に使うための3箇条

一つ 親と話し合って、携帯を使う時間を決めよう

- ・家族と話し合って、ルールを作る
- ・使用時間を決めて、必要なとき以外は使わない
(平日1時間・休日は2時間以内、夜9時以降は使わない)

一つ スマホは、友達と仲よくなるために安全に使う

- ・友達が見て、悲しむようなことはしない
- ・メールやSNS等のマナーを守り、返信がなくても気にしない

一つ メディアリテラシーを理解して使う

- ・フィルタリングや迷惑メール設定などを必ずかける
- ・サイトで知り合った相手には会わない
- ・友達や個人の情報を流さない
- ・一つの情報から得た内容をうのみにせず、親や先生に相談する

③「つながり」そして 輝く！

(徳島市入田中学校 いじめ防止子ども委員会の取組から)

私たち全校生徒18人は、小規模校であることを長所ととらえ、さまざまな行事に全員が積極的に取り組む中で、一人一人が輝き、そして、仲間としっかりとつながることをめざしています。

学年を超えてつながる

縦割り活動班で、全校生徒で、すべての仲間が一つになります

春のオリエンテーリングは最も楽しみな行事。ゲームやバーベキューで、友達同士はもちろん、先生とも一気に距離が縮まります。

また、毎年、全校で手話コースに取り組んでいます。

みんなと一生懸命練習を重ねた成果は、文化祭で披露しています。



幼小中でつながる

共通の目標をもち、共に頑張ることで、力強い絆が生まれます

幼稚園や小学校とも一緒に活動することがたくさんあります。防災訓練や100人合唱では、私たちが小さい子のお手本になれるように、しっかり責任を果たします。



保護者・地域とつながる

保護者や地域の方は、いつも温かく見守ってくれます

保護者とのバレーボール大会や鮎喰川ボランティア活動、地域の事業所での職場体験学習など、保護者や地域の方と一緒に活動する機会もたくさんあります。こうした活動を通して地域の大人とつながることが、学校生活の安全・安心にもつながっています。



私たちは、このような活動を通して、楽しく、充実した学校生活を送ることができています。今後は、つながりを学校や地域の外にも広げ、一人一人がもっと力を伸ばしたいと考えています。

④「ひとりひとりが主役、笑顔あふれる学校を目指して」

(吉野川市立川島中学校 いじめ防止子ども委員会の取組から)

私たちの4つの目標

① 聞こえるあいさつ

生徒会執行部と生活委員会を中心としたあいさつ運動を実施し、お互いが「聞こえるあいさつ」をすることで、学校全体の明るい雰囲気作りに取り組んでいます。

② 命を守る

交通委員会による自転車点検や交通立哨を行い、その結果について放課後の学活等で改善すべき点を話し合う時間を取っています。

③ 時間を守る

生活委員会があいさつ運動とあわせて登校時間調べを行い全校集会で発表しています。「時間を守る」ことは自分のためにも友達のためにも大切であると考えています。

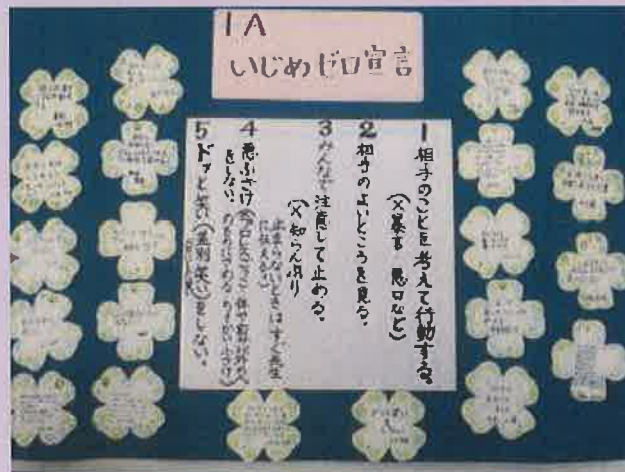
④ 上手に伝える

思いを伝え合う集会活動を多く取り入れ、「自分の思いを伝えること」「互いの思いを伝え合うこと」を大切にし、お互いにつながり合い尊重し合うことを目指しています。

いじめを防ぐ生徒集会

学校行事の実施後に生徒会役員が進行を務め、各クラスの代表者が感想を発表しています。その後、全校生徒が向かい合って意見交換します。

平成29年度は、いじめをテーマにした生徒集会を実施しました。いじめの定義について各クラスで学習してきたことを発表し、全体で意見交換しました。その結果は廊下に掲示し、常に見えるようにしています。



【生徒集会の進め方】

- ① 生徒会執行部が集会を企画し、テーマを決める。
※テーマの例：「いじめとは何か」
- ② テーマをもとに、各クラスで話し合う。
- ③ 生徒集会で、各クラスで話し合ったことを発表し、全体で意見交換を行う。
- ④ 結果を廊下に掲示する。



『全国いじめ問題子どもサミット』への参加

毎年1月、いじめの未然防止、早期解決のために子ども自身が積極的に取り組んだ学校の小中学生が東京の文部科学省に集い、交流する機会が設けられています。

昨年度は、徳島県から2中学校、1小学校の代表の児童生徒合わせて6名が参加しました。サミットでは、各学校の創意工夫をこらした取組を発表するポスターセッションや、テーマをしぼって話し合うグループ協議が行われ、全国の仲間たちと交流を深めることができました。今年度のサミットは平成31年1月26日（土）に開催されます。

昨年度参加した児童生徒の感想から

○ いじめは解決が難しいものだと改めて感じた。しかし、グループ協議で自分が思いつかなかった対策・解決策を学んだ。特に心に残っているのは「みんながいじめを解決しようという意識をもつ」ということである。みんながその意識をもつことで一つでも多くのいじめがなくせるのではないかなと思う。（中学生 男子）



○ 第三者的立場とは、どちらの味方にもならない公平な立場の人のことである。例えば、学校の先生や学級の友達など。その人たちが事前に策を講じることにより、いじめが起きた際に迅速に対応できることや、第三者的立場の人たちの勇氣ある行動が、いじめ根絶への第一歩につながることを知った。（中学生 男子）



○ 他の学校の取組を知ることができてよかった。サミットのことを代表委員会で全校に伝え、これからもいじめの問題について考えていきたい。（小学生 女子）

○ 全国の友達と討議をしたり、日頃の悩みを話し合ったりできてとても良かった。ポスターセッションは大変緊張したが、たくさんの人に自分たちの学校のことを伝えることができて良かった。たくさん質問もしてくれてやりがいがあった。（中学生 女子）



保護者の皆様へ

子どもたちの力でいじめを防ぐために

このリーフレットは、子どもたちがいじめ問題を自分たちのこととしてとらえ、高い意識をもって行動してほしいと願って作成し、小学4年生から中学3年生までの児童生徒に配布しました。

この中で紹介した4校以外にも、徳島県内で子どもたちによる、いじめを防ぐための特色ある取組を実践している学校は拡大中です。また、今年度より各学校に設置を進めている「いじめ防止子ども委員会」は、子どもたち自身の主体的な活動を推進する手立てになるものと考えています。

各ご家庭においても、子どもたち主体のいじめを防ぐための取組が広がり充実するよう、子どもたちといじめ問題について話し合ったり、励ましやバックアップをお願いします。

すべての子どもたちが笑顔あふれる学校生活を送れるよう、ご理解とご協力をお願いします。

○ ひとりで悩まず相談してね

- | | |
|--|--------------|
| ◇徳島県立総合教育センター | 088-672-5200 |
| 《メール相談》アドレス tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp | |
| ◇24時間子供SOSダイヤル | 0120-0-78310 |
| ◇子どもの人権110番
(徳島地方法務局) | 0120-007-110 |
| ◇徳島県警察本部少年サポートセンター | |
| ●いじめホットライン | 088-623-7324 |
| ●ヤングテレホン | 088-625-8900 |
| ◇徳島県中央こども女性相談センター | 088-622-2205 |
| ◇徳島県南部こども女性相談センター | 0884-22-7130 |
| ◇徳島県西部こども女性相談センター | 0883-53-3110 |
| ◇徳島県教育委員会人権教育課
いじめ問題等対策室 | 088-621-3138 |
| ◇青少年こころの電話相談 | 088-625-6165 |
| ◇チャイルドライン | 0120-99-7777 |
| ◇いのちの希望 | 088-623-0444 |
| ◇子ども何でもダイヤル | 088-635-0303 |

発行／平成30年11月 徳島県教育委員会 人権教育課 いじめ問題等対策室
〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地
TEL 088-621-3138 FAX 088-621-2885